

2010年度第8回番組審議会議事録

1. 開催日時 2011年3月29日(火) 17:00~18:00

2. 開催場所 会議室

3. 委員の出席

3-1. 委員総数 8名

3-2. 出席委員 4名 平川愛恵・萩尾利雄・木辻清子・山本幸男

3-3. 欠席委員 4名 正岡健二・高木邦子・為岡務・西修

補: 放送事業者側出席者 金 千秋、平野由美子

4. 議事

4-1. 番組審議

第8回審議番組: 「災害時多言語音声情報」 10分6秒

3月11日(金) 東北地方太平洋沖地震発生後から継続して放送した

話して: 日本語 金 千秋さん (FM わいわい事務局)
英語 橋本昌樹さん (SOUND WAVES パーソナリティ)
中国語 謝 沛睿さん (華声 パーソナリティ)
韓国朝鮮語 崔さん (のれからチャチャチャ 元パーソナリティ)
スペイン語 大城ロクサナさん (SALSA LATINA パーソナリティ)
ポルトガル語 松原マリーナさん (CANTA BRAJIL パーソナリティ)
ベトナム語 マイさん (NGO ベトナム in KOBE 元スタッフ)

FM わいわいでは、3月11日に東北、関東地方で起きた大地震と津波警報発令後から、被災地の外国人の皆さんに向けて災害関連情報を音声とウェブで提供している。特にコミュニティ放送局などが、FM わいわいのホームページからこれらの多言語音声情報をダウンロードしてお使いいただけるようにしている。今回の素材は、地震発生直後のNTT 東日本からの情報(日本語のみ)と、励ましと安否確認のための情報を上記の各言語で放送したものである。

5. 議事の概要

5-1. 番組の基本コンセプトの説明後、審議を行う。

6. 審議内容

6-1. 欠席者の審議紹介

【正岡健二委員】

- ・ 全体を通して音質、音量、会話のスピードともに聞きやすかった。
- ・ FM わいわいが最も得意とする分野での放送は、今後も大切にしてほしいと思う。

【為岡務委員】

- ・ とても興味深く聞いた。内容、技術、音声とも申し分ない。
- ・ 日本で暮らす外国人の人は、心落ち着くことができたのではないかと感じた。このような放送が、これからの社会には当たり前になると感じた。神戸の震災でも言葉の壁を強く感じていた。

【高木邦子委員】

- ・ 災害時に母語を聞くことができると少しは安心できると思う。
この放送が外国の方に役立つことは大変有意義ではないか。

【西修委員】

- ・ 冒頭に「まず…」と入ったのに、「次に」がなかったように思う。
- ・ 5分間のお知らせの中に何が含まれているのかを最初に知らせた方が、聞く側は安心できるのではないかと思う。
- ・ 「災害に関する様々な情報を提供していることをお知らせしています」ということだったが、全体がNTTからのお知らせのように感じた。結局、WEBを見てくれということだと理解したが、そうであればもっと短い時間でアナウンスできるのではないか。あるいは「災害に関する様々な情報」の中身を項目だけでも知らせた方がよいのではないかと思う。

6-2. 出席者の審議

【平川愛恵委員長】

- ・ 英語がとても聞き取りやすかった。
- ・ 自分が外国へ行ったらこういうものがあつたら安心できると思う。
- ・ 慌てていると聞き逃すので、何度も繰り返して流してほしい。

【萩尾利雄委員】

- ・ ゆっくりと話していて聞きやすかった。
- ・ インターネットに関することは年配者にはわかりにくい。専門用語は工夫が必要。
- ・ 情報をプリントアウトして避難所へ貼ってもらうのが一番よい。
- ・ 災害時の情報発信はFMわいわいが一番に取り組まないといけないことである。

【山本幸男委員】

- ・ 地上波で仕事中にいつも聞いている。日本語文は覚えたほどである。
- ・ 言語はこれだけでは足りていないのではないか。

【木辻清子委員】

- ・ 実際にどういう形でこの音声が流れているのか、使われているのか、イメージしにくい。
- ・ インターネットの知識がない人はどうしたらよいのか。

【放送事業者側出席者：金千秋】

- ・ 言語は足りていない。タガログ語（フィリピン）、タイ語、インドネシア語が必要である。
- ・ ラジオをもって避難している人は少ない。パソコンや携帯電話も電源がなければ使えない。生で聞いた人が、このような情報を必要としている人に伝えてほしいと思っている。
- ・ ウェブを利用し、いろいろな方法（ダウンロード、QRコード等）で被災地から遠いところでも情報支援をしている人たちがいるということを知ってもらいたい。
- ・ JCBA 日本コミュニティ放送協会のネットワークを利用して、各コミュニティ局に情報を送っている。臨時放送局として100W～150Wで被災地で放送している局もあるので、そこで利用してもらっている。
- ・ 東北、関東方面のコミュニティ放送局に直接電話をして、多言語音声情報等を活用してもらうように丁寧に説明している。
- ・ 情報が書いてある紙をラジオと一緒に配って、この情報を聞いてくださいという活動も考えている。外国人にだけでなく、避難所にいる人たちにも聞いてほしい。NHK等のマスメディアの情報だけではなく、コミュニティ、地域のきめの細かい情報をラジオから得てほしい。
- ・ 多言語音声情報についてマスメディアからの取材依頼も多い。そうすると、大きな反響があり、外国人に限らず障害者、難病患者の団体、子ども支援等の情報を取り上げてもらいたいという要望がまた来る。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

・

8. 審議内容の公表について

8-1. 公表内容 議事の内容

8-2. 公表方法

8-2-1. 自社放送・・・2011年4月9日12:00～13:55の番組内で放送予定

8-2-2. 議事録の設置

8-2-3. ホームページに掲載

以上